



色鮮やかなゆかたを身にまとった、ゆかたコンテストの出場者

広報  
No.670

# させぼ



広報させぼ 編集長  
「キューちゃん」

特集 始めよう  
地球に優しい暮らし方

2 ~ 7 p

今月の主な内容

- 市子ども育成条例、市職員の給与公開など 8 ~ 13 p
- イベント、施設だより 14 ~ 15 p
- 市民の広場 16 ~ 17 p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド 26 ~ 27 p
- 九じろうの取材日記 28 p



PUBLIC RELATIONS SASEBO

広報させぼ

平成18年9月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL0956-24-1111 FAX25-2184

〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/中央印刷有限会社

## 九じろうの 取材日記

市亜熱帯動植物園  
サマースクール



サマースクールは、こととして23回目となる夏休みの恒例行事です。7月27日のサマースクールには小学5、6年生11人が参加し、開校の後、ゾウ班、キリン班、ラクダ班の3班に分かれ、飼育担当者の指導を受けながら飼育実習を行いました。

動物との触れ合いを通して生き物について学ぶ「動植物園サマースクール」が、7月27日と8月3日の2日間、市亜熱帯動植物園で開かれ、小学生が1日飼育係を体験しました。



クマ運動場  
清掃中

ゾウ舎清掃中

クマの運動場には、ふんだけではなく抜け替わったクマの毛も落ちていました。見た目はふわつとした毛の塊も、触ってみるとイヤヤネコなどは違ってごわごわと固く、子どもたちはびっくりした様子でした。

普段は柵ごしにしか見られない動物たちを間近に見られるとあって、子どもたちは期待に胸を膨らませて獣舎に向かいました。待っていたのは動物ではなくその動物たちの「ふん」でした。ふんを観察して動物の健康状態を知ることも、獣舎を清潔に保つことは飼育の基本ともいえ、獣舎の掃除は大事な仕事の一つです。みんなで力を合わせ、自分の頭と変わらないほど大きなゾウのふんもきれいに片付けました。

飼育実習はまず掃除から

人間対クマの知恵比べ



探しながら、見事、隠されたリンゴ全部を食べてしまいました。「勝ちたい」と思っていた子どもたちの努力もむなしく、この勝負、クマの嗅覚の勝利でした。

えさやりは大変

サマースクール参加者の一番の楽しみは、動物を間近に見て、触れられるえさやり体験です。ラムのキューちゃんたちになだられ、恐る恐るえさをやっていた子どもたちも、担当者からラムやラクダの上あごには歯がないと聞き、安心してえさをやることので

ゾウ班の3人は掃除後に、人間対クマの知恵比べをしました。リンゴを運動場の階段や遊具のタイヤの中、丸太の陰などに隠し、クマが見つけれられるかどうか、外から観察しました。

獣舎から出たクマは真つすぐにタイヤに向かい、中に隠してあったリンゴを見つけ出し、その後鼻先を使って物陰を



ラムのキューちゃん

ちに触れられてよかったです」と話しました。

飼育実習の最後には、一人ずつゾウのハナ子に水をかけてやり、みんなも、ハナ子も大満足でした。子どもたちにとつて、夏休みの大きな思い出となったサマースクールでした。



編集長から「一言」

8月初めに取材でお会いした松本さんは、この夏に自宅のエアコンをまだ使っていないと話していました。生ごみは自宅で処理しているそうです。松本さんと同じように実践するのは難しいかもしれませんが、環境のためにわたしたち一人一人ができる範囲で行動すること大切です。(K)

